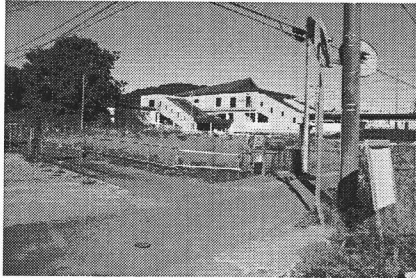


道路・交通網

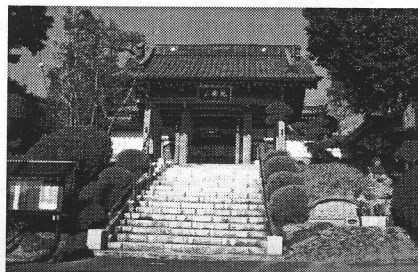
-住みよい町の為の道路・交通網-

- ①住みよい相原の為の町田街道の拡幅と大戸踏切立体化の実現
- ②国道16号相原坂上交差点から都道170号線、東京家政学院大学前交差点までの尾根幹線道路の都市計画決定の実現
- ③八千代銀行以西の町田街道拡幅の都市計画決定の実現
- ④3・3・47号線（駅前道路）・3・3・49号線（南北道路）等の西口道路網の道路整備
- ⑤東口駅前広場へ陽田川に沿った駅東口進入道路の新設
- ⑥道路網整備を完成させて相原循環バスの走行
- ⑦歩道整備充実により通学路の安全と住民のウォーキング



東西駅前広場・商業の活性化キーコンセプト

- ①駅前広場に住民のコミュニケーションエリア「たまり場」設置
- ②駅周辺地域への金融機関の誘致
- ③相原駅から堺市民センター等に繋がる車道・歩道の整備
- ④大学関係者（学生・教職員）の利用拡大が見込める店舗（地元商店、外部資本）の誘致
- ⑤ウォーキングブームに呼応した地域外からの観光客誘致と環境整備（案内図、看板、案内所）
- ⑥道路網整備を完成させて相原循環バス発着場の整備



相原まちづくり中長期構想

今後の相原町のあり方を、相原まちづくり協議会で2年間にわたり、協議してきました。その結果、「相原まちづくり中長期構想」としてまとめました。中長期とはすぐに可能なものから、15年ぐらいの期間を目安として考えています。具体化できるものは、今年度から取り組みます。

キーコンセプト

『はーとふる・ウォーキング・タウン” あいはら”』
— 安心・快適に行き交えるまちづくり —
本格的な高齢化社会の到来に伴い、車社会から歩行・公共交通利用社会への移行を想定し、生活に密着した相原町の各主要拠点を縦横に繋ぐ歩道・遊歩道を新設・拡幅・整備し、車両のみに頼らない安心・安全そして、快適な生活動線確保した社会基盤整備を行う。加えて中高年齢層を中心に増加傾向にある健康志向のウォーキングブームに呼応した観光スポットとして、

医療・福祉・文化施設

- ①夜間・休日の救急外来を受け入れる医療機関の誘致・整備
- ②隣接した八王子市・相模原市と連携した広域医療体制の確立
- ③医療施設に繋がる安全通路の確保・建設
- ④大戸から八王子市医療機関への（大戸--高尾）バス路線の誘致
- ⑤点在する寺社・史跡を繋ぐ安全な遊歩道の確保・建設へ移動
- ⑥文化施設・文化財の案内板を東西駅前設置
- ⑦福祉対象者の散策路と歩道の整備

ライフライン・インフラ整備

- ①大戸踏切以西の下水道整備の実現
- ②地域連携による都市ガス敷設の促進
- ③埋設配線による街路灯の計画的設置
- ④インターネットによる地域情報発信の推進



防災対策・河川改修

- ①陽田川等自然水利利用による防火水槽等の設置
- ②雨水の集水面積と連動した道路・下水道整備の推進
- ③災害時の一人暮らし老人の把握等による自主防災組織の強化
- ④街頭消火器、住宅用火災報知器の設置促進
- ⑤境川河川敷を活用したサイクリングロード計画の早期実現
- ⑥中小河川の一部暗渠排水化による歩道・小公園の確保

緑地計画・公園

- ①子供から高齢者まで利用できる身近な公園の誘致・促進
- ②相原駅から相原中央公園に繋がる安全な遊歩道の新設・整備
- ③地域連携による大地沢周辺を中心とした広域自然保

